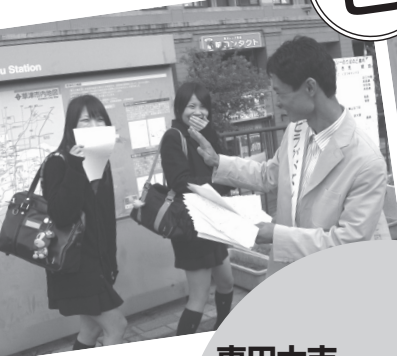


ビラがパズルの人



東田大志 (ひがしだ・ひろし)

人間・環境学研究科修士1回生。
「ビラがパズルの人」として、パズルの魅力を伝えるため京大を中心にビラを配っている。愛称は「チェバさん」。

——大学院では何を研究していますか？

やっぱり……パズルですね（笑）。パズルにもいろいろありますが、パズルと名のつくものはほとんど全て包括的に研究をしています。知恵の輪もクロスワードも、ルービックキューブみたいなものも。あらゆるパズルに目を向けています。

最近には特に、フランスの哲学者ドゥルーズが書いたパラドックスについての論文を研究しています。パラドックスとパズルという関係は、一見相反するような2つのものが実は紙の裏表のような関係で、同時に発達してきているんです。互いに足を引っ張っているようで、協力し合いながら発達してきている。このようなところを研究しています。具体的には論理学や芸術学ですね。あとは数学も少し。様々な分野からパズルを多角的に見つめています。

——いつごろから「ビラがパズル」になっているんですか？

僕はパズル同好会の創設者（2003年創設）で、同好会ができたときからビラは配っていたんですが、1年目はあの名文句は生まれませんでした。2年目によく生まれたんですけど、なかなか慣れなくてあの独特のイントネーションはついてなかったんです。3年目の4月からは本格的に「ビラがパズルの人」になりました。

最初のうちは、体の大きいラグビー部やアメフト部の人達にかなり気を遣いながら配っていました。でもその人達と知り合いになってくると、新入生と一緒にいる運動部の人達が「これは京大名物のビラだから

「ビラがパズルになってま〜す」でおなじみの、あの人にインタビューしてみました。今回ついに「ビラがパズル」の謎が明らかに!?

もらっときー」って新入生にも僕のビラを渡してくれるんですね。すごいありがたいことです。

——全国進出のきっかけは？

mixiの「ビラがパズルの人」コミュニティです。僕ももうそろそろパズル同好会の幹部を退かなければいけない、けどまだ「ビラがパズルの人」は続けたいと思っていました。ここで終わってはもったいないし、全国に出てみたいねという話をコミュニティ管理人の「J」さんとしていたんです。そこへ、話を聞いた雪だるまプロ（映画制作サークル）のフシキさんが「是非ドキュメンタリー映画にしたい」と言ってくれたんで、これはもう行くしかない決めました。

2007年9月から全国進出がスタートして、これまでに京都の三条河原町、神戸・三ノ宮、東京・秋葉原、大阪・ヘッパナビオ前、滋賀・南草津、名古屋・松坂屋本店前で配りました。……だいふ配りましたね（笑）。12月下旬には福岡にも進出予定です。その後はリクエストがあった埼玉や岐阜、ゆくゆくはアメリカ・フランスでも配ってみたいですね。





——将来の夢を教えてください。

やっぱり、パズルを研究したいです。まだパズルについては明らかにされていないことがたくさんあるので、まず「パズルって一体何だ？」という根本的な問いから入って、パズルについて分析して、「○○だからこれが『パズル』なんだ」という悟りのようなものを開きたいですね。ゆくゆくは京都発、日本発のパズル学を確立させたいいな、と思っています。ただ、今の悩みは後継者がいないことです（笑）。

——では、パズルへの熱い思いをどうぞ。

僕とパズルが出会ったのは小2のとき、母に買ってもらったパズルの本がきっかけでした。そして色々なパズルの本を買ってやってみたところ、本当に面白くてパズルの世界にはまってしまいました。中学からは自分で作るようになり、パズル雑誌にも僕が作った問題が載りました。大学に入っ

てからはパズル同好会を作って……と、パズル歴は長いです。

さて、パズルとの関わり方はいくつかあります。基本は「作る」「解く」ですが、3つ目は「自分がパズルになる」ことなんです。僕はそこまで行ってしまいました（笑）。ものの考え方でパズルになってしまったんですね。多角的というか、他人とピントをずらすというか。

そういえば、実は恋愛もパズルなんです。何が一緒かというと、パズルを作るときに今にも失敗しそうで（失敗したらダメなんですけど）ギリギリのところであまういく。そのときに最もいい問題が作れるんです。恋愛もそうなんですよ！ 失敗しそうなところを乗り越えて愛は深まっていくってことです。成功したときの喜びは何物にも代えがたいですね。これも恋愛と一緒に（笑）。

今は分かりやすく恋愛を例に取りましたが、恋愛に限らずやっていること全てがパズルになってくるんです。でもこれは僕だけではなくて、多かれ少なかれ、みなさん

そうだと思うんですよ。生まれてきて、最初は目にするもの全てが新しく知らないものです。ですから「これは一体何だろう？」と思って、その疑問を解こうとするじゃないですか。みんな生まれてから目の前のパズルを解き明かしてるんですよ。ですから「人生＝パズルを解くこと」だと思います。

逆に、パズルも生きているんです。もともとは宗教的なもの（神託の謎を解き明かすこと）でしたが、いまやエンターテインメント性を持つものに変化しています。変化を繰り返して現在に至ってますよね。時代がパズルを変えてきたし、逆にパズルが時代を変えたこともあると思います。

——そんなパズルの魅力を伝えるためにピラを配っているわけです。

最後になりましたが、全国進出計画をはじめ、僕の活動はみなさんの応援あってのものです。みなさんには大変感謝をしています。今後とも「ピラがパズルの人」はみなさんのご協力のもと、がんばっていきますので、よろしくお願いします！

——ありがとうございました。

チェバさんからの
挑戦状！

数字のお部屋♥

今回、らいふすてーじのためにチェバさんがパズルを書き下ろしてくれました！ そしてなんと、全問正解者の中から抽選で3名様に「ピラがパズルの人サイン入りオリジナルパズル集」をプレゼントします！

★ルール★

- ①全てのマスに数字を1つずつ入れます。
- ②1マスの部屋には1が1個、3マスの部屋には1が1個と2が2個、6マスの部屋には1が1個と2が2個と3が3個、10マスの部屋には1が1個と2が2個と3が3個と4が4個入ります。
- ③同じ数字がタテヨコに隣合うマスに入ってはけません。

★応募方法★ 読者カードに記入してください。

★応募べ切★ 2008年1月末日

★当選発表★ 発送をもって当選発表に代えさせていただきます。

(例題)

1	2	1	2
3			1
2			2
1	4	2	4

(答え)

1	2	1	2	1	2
2	1	2	1	2	1
1	3	1	2	1	4
3	2	3	1	2	1
2	1	4	2	4	3
1	2	3	4	3	1

		2			
	1			3	
			1		
2		1		3	1
			3		
	2				2
		1			

かんたん★

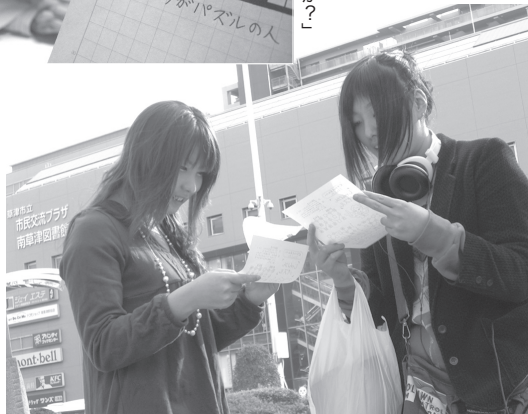
ムズカシイ★★★

		1		1	
			4		
	3				4
3					3
	3				4
			2		
		3		3	



「さあ、解けますか？」

▶誰もが、もらったピラに興味津々です。



はみだし
すてーじ

実は俺、「ガリレオ」に出てるんすよ。犯人役で。
⇒……面白い。実に興味深い。

(医・1 J K)
(個人的には『相棒』が好き；編)